

ま え が き

徳島県中学校教育研究会数学部会の会員の先生方には、生徒のために日頃から地道な実践を積み重ね、数学教育の充実・発展に尽力いただいておりますことに、心より感謝と敬意を表します。

昨年10月、第55回徳島県中学校数学教育研究大会を『生きる力を育てる数学教育の創造』という主題、「数学的活動の楽しさを感じ、表現する能力を育てる授業実践」のサブテーマの下、石井町石井中学校を会場として開催することができました。これも、ひとえに先生方をはじめ多くの関係者のみなさまのご尽力・ご指導・ご支援のおかげだと改めて感謝申し上げます。

いよいよ新学習指導要領の完全実施となります。こういった転換期だからこそ、我々数学教師が常に意識し大事にしなければならないものは、主役は生徒であり、授業中の、「おもしろそう」「がんばってみよう」「わかった」といった表情や目の輝きだと思います。特別な題材や指導法を求めるのではなく、生徒の視点に立って、これまで扱ってきた題材や指導内容を見直し、生徒が主体的に活動できる価値ある場面をどのように位置づけていくかが大切だと思います。そうした意味から、数学的活動をどう取り入れるか、指導者としての力量が問われる状況にあると考えます。

簡単に言えば、私たち数学教師は、生徒たちが学ぼう、学びたいと思うような環境を整えることだと思います。そのためには、生徒が新しいことを知った喜びを味わえる授業、先人が創り上げた数学の理論を迫体験できる授業、知的好奇心が揺さぶられ課題を追求したくなる授業、このような「生徒が胸を躍らせる授業」をめざして、更なる努力と研鑽を積み上げていかねばなりません。

本研究委員会でも、石井中学校で開催された大会を受け、「生きる力を育てる数学教育の創造～数学的活動の楽しさを感じ、表現する能力を育てる授業実践～（実践事例）」を研究テーマとして実践研究を進めてきました。そして、その成果をまとめ、編集いたしました。

本誌は、あくまでも1つの指導例であり、授業の展開の仕方は様々であろうかと思います。指導例を参考に、単元構成も考慮しながら、教材研究を行っていただけると幸いです。

終わりにになりましたが、本誌編集にご尽力いただきました研究委員の先生方、事務局の先生方に厚くお礼を申し上げ、発刊の言葉といたします。

平成24年4月

徳島県中学校教育研究会数学部会
会長 土佐敏彰

目 次

(第1学年)

1	正の数・負の数	鴨島第一中学校	川真田摂弥	1
2	方程式	南部中学校	近藤千恵子	7
3	比例と反比例	勝浦中学校	長尾 友香	15
4	平面図形	小松島中学校	東甫 英佑	20
5	資料の活用	大麻中学校	佐川 佳織	23

(第2学年)

6	式の計算	吉野中学校	磯村 淳	29
7	連立方程式	八万中学校	加藤 忍	34
8	一次関数	日和佐中学校	杉谷 操	38
9	図形の調べ方	津田中学校	岡本 陽子	44
10	図形の性質と証明	岩倉中学校	森脇 博文	48
11	確 率	阿南中学校	山崎 理靖	52

(第3学年)

12	平方根	高浦中学校	後藤 真治	57
13	二次方程式	応神中学校	九十九 肇	61
14	関数 $y = ax^2$	鷺敷中学校	中川 一英	65
15	図形と相似	山城中学校	内田 清文	69
16	三平方の定理	板野中学校	櫻井 篤史	73